

登録コード	A3590312		開講年度	2026			
授業科目	科学英語Ⅱ					担当教員	保坂 毅
英文授業名	Scientific English Ⅱ						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
備考							
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している					⇔	受講生ごとに自身の到達目標を設定し、 (1) 英文による学術論文の内容を正しく理解して研究に活用する。 (2) それぞれの到達目標を満たすことで科学英語に関するスキルアップを図る。
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					⇔	受講生ごとに自身の到達目標を設定し、 (1) 英文による学術論文の内容を正しく理解して研究に活用する。 (2) それぞれの到達目標を満たすことで科学英語に関するスキルアップを図る。
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					⇔	受講生ごとに自身の到達目標を設定し、 (1) 英文による学術論文の内容を正しく理解して研究に活用する。 (2) それぞれの到達目標を満たすことで科学英語に関するスキルアップを図る。
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					⇔	受講生ごとに自身の到達目標を設定し、 (1) 英文による学術論文の内容を正しく理解して研究に活用する。 (2) それぞれの到達目標を満たすことで科学英語に関するスキルアップを図る。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	英語学術論文を読解し、その内容をプレゼンテーション形式で説明する。 自身の英語力を把握する。						
(5)授業計画	英文読解とプレゼンテーション 1. 学術データベースを用いた英語論文の検索（目標の設定） 2. 検索でリストアップされた候補論文の絞り込み（英文の速読） 3. 電子ジャーナルの活用 4. 選択した論文の全訳①（英文の熟読） 5. 選択した論文の全訳②（英文の熟読） 6. 論文内容の理解（文章の論理構成の理解，引用文献の読解） 7. プレゼンテーション資料の作成（英文読解により得られた知識の活用） 8. 論文内容のプレゼンテーションと討論（到達度の確認） ※最後の授業回に授業アンケートを実施します。						
(6)自主学習の指針	自主学習は必要不可欠です。 興味を持って前向きに取り組んでください。						
(7)成績評価の基準	テストやレポートでは以下の6項目に対し評価する。 (i)課題への理解が適切である。(ii)課題の背景が説明できる。(iii)課題に関する未解決の問題を説明できる。(iv)未解決の問題に対する解決策を説明できる。(v)その解決策が独創的である。(vi)レポートの内容が論理的で、文章が正しく構成されている。これら,6項目を全て満たし、かつ、教員を感心させるレベルにあれば『卓越している』、5項目であれば『かなり上にある』、4項目であれば『やや上にある』、3項目であれば『合格水準にある』とする。						
(8)事前事後学習の内容	講義の事前学習:講義のキーワード等を参考に事前調査し、調査結果を自分の言葉でノートにまとめること。 また、教員から出された課題等に取り組むこと。 講義の事後学習:講義で紹介された内容を復習し、自分なりにノートにまとめること。 加えて、講義で紹介された参考書や文献の調査を行い,その内容を自分の言葉でノートにまとめること。 以上の学習については、学習内容として決められた時間内にできる範囲を標準とする。 ※この授業は90時間の学修を必要とするため,60時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)テストやレポートの予定	必要に応じてテストやレポートを求めます。						
(10)成績評価の方法	授業計画に挙げた内容に対する取り組みの成果を総合的に判断して評価する。 評価基準〔評語（点数）〕：秀（90-100）、優（80-89）、良（70-79）、可（60-69）、不可（59以下）						

(11)質問、相談への対応および連絡先	講義時に直接質問、相談すること。
(12)履修上の注意	1. 対象学生：生命機能科学コース3年生. 研究室配属後の履修になります。開講形式は研究室ごとに異なるので注意してください。
【教科書】	指定しない。
【参考書】	指必要に応じて関連文献等を指定する。